

# セイフティシステムズ事業

急速に拡大する世界の自動車安全部品市場に魅力的な製品を提供し、グローバル市場でのシェアを拡大していきます。

セイフティシステムズ事業本部長  
取締役常務執行役員  
池田 義之



## 事業概況

**世界3拠点のグローバル体制で、自動車安全部品の製造・販売を行っています。**

日本化薬は、日本(姫路工場)、米国(カリフォルニア・ライフspark社)、チェコ(フセチン・インデット セーフティ システムズ社)の世界3拠点で、自動車用安全部品の生産・販売を行っています。当社は、姫路工場での雷管製造と厚狭工場での火薬製造により、点火・起爆装置および火薬燃焼に関する長い歴史と技術を持っています。これらの技術を応用展開して、エアバッグを膨らませるためのガス発生装置「インフレーター」と、衝突時などにシートベルトを引き締めるための「マイクロガスジェネレータ(MGG)」、そしてそれらの点火装置「スクイブ」を独自に開発してきました。現在、日本でインフレーターを生産し、日本・米国・チェコでスクイブおよびMGGを生産しており、グローバル市場に製品を提供しています。

## 営業概況

**国内および米国では苦戦を強いられましたが、2009年5月期以降の反転上昇が見えてきた1年でした。**

2008年5月期の業績は、チェコのインデット セーフティ システムズ社(ISS)は堅調であったものの、国内および米国のライフspark社(LS)は苦戦を強いられました。生産体制については、チェコのニッポンカヤクCZ社(NKCZ)でガス発生剤の生産を開始したほか、中国の化薬(湖州)安全器材有限公司(KSH)、およびメキシコのカヤク・セイフティシステムズ・デ・メキシコ社(KSM)の工場建設にも着手、世界5拠点体制に向けて動き出しました。

国内においては、海外への支援を行いつつ、需要が拡大するインフレータの収益改善への取り組みを実施しました。また、セイフティシステムズ開発研究所(SSD研)および姫路工場の組織

変更を皮切りに、「自動車部品産業への完全転換」をめざして、事業本部全員の意識改革に着手し、国内事業の将来展望が開け始めました。

さらに、インフレータの数量拡大が軌道に乗ってきたこと、米国LS社が第4四半期に黒字転換できたこと、SE(サイマルテニアス・エンジニアリング:部門間での並行開発管理)手法の導入によって組立ラインの品質や効率が向上したことなどで、2009年5月期以降の反転上昇が見えてきました。

## 今後の展開

**「自動車部品産業への完全転換」をめざし、グローバルな意識改革を推進していきます。**

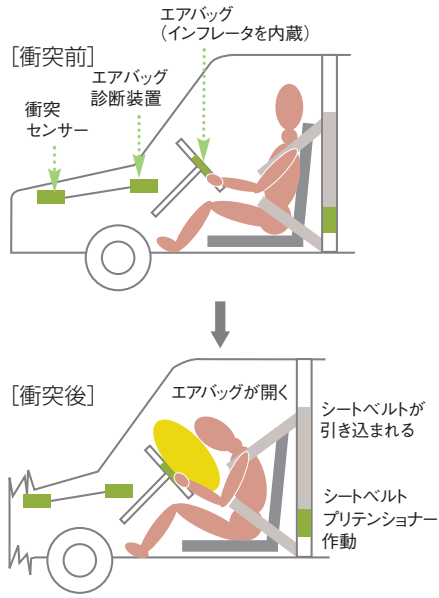
自動車市場は、今後も世界で急速に拡大していくと考えられます。今後5年は中国・東ヨーロッパで、その後は、インド・ロシア・ブラジルでの市場拡大が見込まれます。さらに、日系自動車メーカーの世界進出に伴う日系部品メーカーの現地進出が目玉されます。

日本化薬は、トップからの意識改革を続け、グローバルレベルで「自動車部品産業への完全転換」をめざします。国内および中国KSH社を東アジア地域事業と位置づけ、中国での自動車生産拡大の潮流に乗って事業を拡大するとともに、相互補完的な生産体制を構築し、収益の拡大を図っていきます。また、米国LS社とメキシコKSM社の協調によって北米市場での事業拡大を図るとともに、国内との連携によって収益向上をめざします。また、チェコのISS社およびNK CZ社についても、国内を含むグローバルな協調体制を構築し、コストダウンによる収益改善を図ります。

今後も、SE手法のレベル向上と適用拡大による組立工程の改善、当社の得意分野であるスクイブの更なる改良による市場優位性の確立などを戦略課題として実行するとともに、SSD研究所を中心に人材の育成・強化を推進し、今後の発展・拡大をめざしていきます。



■エアバッグおよびシートベルトプリテンショナー作動の仕組み



■エアバッグインフレーターメカニズム(仕組み)

インフレーターは自動車の衝突時にエアバッグを膨らませるための点火・ガス発生装置です。

【作動メカニズム】

- ① 衝突をセンサーが感知し、インフレーターに電気信号が流れる。
- ② インフレーター内のスクイブ(点火具)が作動してガス発生剤が燃焼し、ガスがエアバッグに送り込まれる。

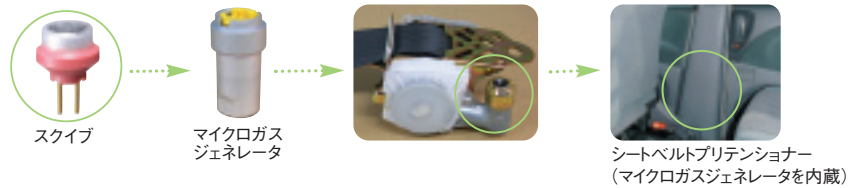


■シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータメカニズム(仕組み)

シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータは、自動車の衝突時にシートベルトを巻き取り、体を固定する装置(シートベルトプリテンショナー)のための点火・ガス発生装置です。

【作動メカニズム】

- ① 衝突をセンサーが感知し、マイクロガスジェネレータに電気信号が流れる。
- ② マイクロガスジェネレータ内のスクイブ(点火具)が作動してガス発生剤が燃焼し、発生したガス圧力がシートベルトを巻き取る原動力となる。



アグロ事業

単独事業組織として、さらなる構造改革を進めていきます。

事業概況

日本化薬では農業用の殺虫剤、殺菌剤、除草剤や土壌くん蒸剤、カ・ハエ・ゴキブリなど不快害虫の殺虫剤を製造・販売し、農業用殺虫剤および土壌くん蒸剤が売上の大きな部分を占めています。

営業概況

2008年度5月期は、受託品が落ち込んだため、前期を下回りました。

今後の展開

さらなる構造改革を進め、事業効率を高めるとともに、製品導入などの戦略的提携を進めていきます。